

組合相談コーナー 理事会に欠席した理事の責任について

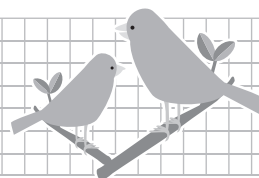
Q 本年度の通常総会において理事に選任されました。都合で理事会に出席できず、書面議決書も提出しなかった場合は、賛成したものとみなされますか。

A 中小企業等協同組合法において、「理事は、法令、定款及び規約並びに総会の決議を遵守し、組合のため忠実にその職務を行わなければならない（第36条の3第1項）」とされています。

理事会に欠席した者は、決定事項について賛成したものと見做されず、したがって、その決定の段階までは責任はありません。しかし、理事は、組合の業務について総合監視の責任があり、理事会が開催されたこと、また当該決定がなされたことを知っていながら、決定から執行までの段階で、これを止むべき何らの措置をとらなかったときは、理事としての一般的任務懈怠の責任は免れ得ません。

また、組合の理事は、個人的信頼に基づき選任され、かつ、組合との委任契約を締結したものであるため、その権利の行使及び義務の履行は理事自らの意思及び行為として行われるべきで、理事会に出席できない場合に代理人によって議決権を行使することはできません。

話題の広場



中央会事業より

官公需受注対策懇談会を開催

7月24日(木)、ホテルメトロポリタン秋田(秋田市)において、官公需受注を目指す組合を対象とした官公需受注対策懇談会を開催し、関係者など31名が出席しました。

懇談に先立ち、岩手県総合建設業協同組合(岩手県盛岡市)の梅木幹夫専務理事より、「官公需適格組合制度の活用による共同受注事業の取り組み事例について」と題して講演が行われました。当組合は、県及び市町村の出先機関に直接営業を行う際に、官公需法に基づく「中小企業者に関する国等の契約の方針」で活用を求めている官公需適格組合であることの強みを最大限に活かし、少額工事等の随意契約を獲得しています。

講演の中で梅木専務理事は、「組合に頼めば何でもやってくれるという認識をもってもらうこと」、「他社のやりたがらない仕事を受けること」、「仕事は建設会社からもらうのではなく、直接営業して獲ってくること」等の営業方針を徹底することで受注を獲得している事例が紹介され、官公需受注のみならず共同受注事業の運営面においても大いに参考になりました。

引き続き、行政機関からの情報提供として、秋田県建設部建設政策課建設業班の石澤副主幹及び秋田県出納局総務事務センターの菅原主幹、秋田地域振興局総務企画部の川上総務経理課長より各機関における発注・入札等の状況について説明が行われ、その後、組合における官公需受注の現状と課題、今後の方策などについて意見交換を行いました。出席者からの主な意見・要望等は次のとおりです。

【印刷業】中央会の協力を得て、オープンカウンターで発注する印刷物についての最低制限価格制度の拡大要望を行い、段階的に見直しをいただいております。今後も、目標達成に向けて要望を続けたい。

【自動車整備】官公庁からの車検及び自動車整備の入札に際し、きちんと認証書を確認する等の手続きを厳格に行ってほしい。また、市町村での入札に対し、ダンピングを防止する措置をとってほしい。

【管工事業】県外の労務単価が高いため、労働力が県外に流出してしまい、労働力不足により入札に参加できなかったり、落札しても工期内に終わらないような状況に置かれており、地元業者が受注できるよう、専門業者の育成という大きな視点に立っていただきたい。



【懇談会の様子】

平成26年度通常総会を開催、新役員を決定 ～秋田県官公需受注対策協議会～

官公需受注対策懇談会に引き続き、秋田県官公需受注対策協議会(加藤憲成会長)の平成26年度通常総会が開催され、平成25年度の事業報告書が承認されたほか、平成26年度事業計画が満場一致で原案どおり可決決定されました。さらに、任期満了による役員改選が行われ、会長には加藤憲成氏(秋建協同組合理事長)が、また、副会長には大門一平氏(秋田県印刷工業組合理事長)がそれぞれ再選されました。



【通常総会の様子】

秋田県官公需受注対策協議会(会員30組合等)では、会員に対し官公需施策等の情報提供を行うとともに、積極的に会員の増強に努めるほか、秋田県中小企業団体中央会や会員組合と連携して国・県及び市町村等の行政機関に対し官公需受注機会の確保・拡充のため要望活動を行う予定です。

ものづくり補助金を活用しませんか ～2次公募受付中～

本会では、秋田県地域事務局として平成25年度補正「中小企業・小規模事業者ものづくり・商業サービス革新事業補助金」の2次公募を受付しております。

平成25年度補正1次公募では、従来のものでつくり分野に加え、新たに設けられた革新的サービス分野にも様々な業種から応募がありました。

今回、この2次募集が最終の公募となります。1次公募で採択されなかった企業の皆様には再チャレンジも可能ですので、この機会に是非、本補助金をご活用ください。

【補助金額上限】 一般枠1,000万円 【補助率】 補助対象経費の2/3以内

(小規模事業者枠700万円、成長分野枠(※)1,500万円※医療、環境、エネルギー分野等)

【募集締切】 平成26年8月11日(月)当日消印有効

<これまで採択されたテーマ例>

No.	業種	採択テーマ
1	廃棄物処理業	自動車のリサイクル効率化に向けた取り組み
2	持ち帰り・配達飲食サービス業	新調理システム導入による「法要会食サービス」事業の展開
3	印刷・同梱連業	1冊からのフォトブック作成事業で競争力向上
4	技術サービス業	設備導入による測量事業の差別化
5	飲食料品小売業	顧客の一元管理による新たな業態開発とサービス向上

ものづくり補助金に関するお問い合わせ先：秋田県地域事務局(☎018-874-9443)

ものづくり補助金ホームページ(<http://www.chuokai-akita.or.jp/25monozukuri/index.html>)

※中小企業応援サイト「ミラサポ」での電子エントリーも可能です。

東北・北海道ブロック中央会指導員研究会を開催

7月24日(木)、25(金)の2日間にわたり、ホテルメトロポリタン秋田(秋田市)において、東北・北海道各道県中央会から11名が参加し、組合の活性化をテーマに、東北・北海道ブロック中央会指導員研究会を開催しました。



【指導員研究会の様子】

研究会では、ゼネラルマネジメントオフィス所長の佐藤卓氏から基調講演が行われ、昨年度本会で取りまとめた「組合活性化プラン」の手順をもとに、組合員の意識改革から組合事務局職員の育成までの手法について説明が行われました。

引き続き、各道県における組合活性化の事例や、組合の設立状況等について意見交換を行ったところ、組合事業の一環として実施した「チャレンジ資金制度」で、組合員の新商品開発等における経費を補助することで、組合の共同事業が機能し組合員の売上増加に繋がった事例が紹介されました。

2日目の視察研修では、秋田駅ビル・トピコで農産物及び加工品の販売を行う「企業組合みんなのやさしい畑」の中川兼喜理事長から、駅ビル内における産直販売の取り組みについて事例発表が行われました。当組合では、電車の乗降客は重い物を持ちたがらないという立地上の特徴に対し、できるだけ瓶詰めでない商品を取り扱うなど品揃えを工夫し順調に売上を伸ばしています。今後は、組合オリジナル商品の開発を目指しており、本会では、各道県の成功事例を参考にしながら、支援していくこととしています。

～地区別組合代表者懇談会の開催について～

本会では、8月26日(火)から9月11日(木)まで、湯沢地区を皮切りに、下記スケジュールにて県内6地区で「地区別組合代表者懇談会」を開催します。

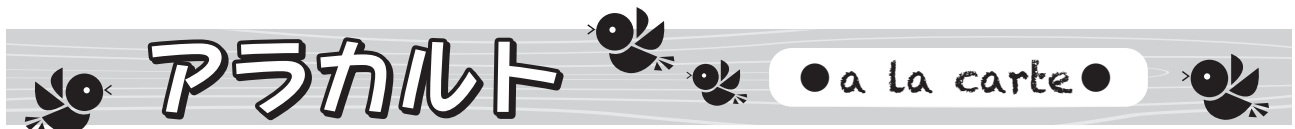
本懇談会では、昨年度の代表者懇談会で要望された事項の経過状況の説明を行うほか、4月に施行された「中小企業振興条例」及び県の支援施策や、業界の要望等について意見交換を行う予定です。

組合理事長はじめ組合役員・青年部・女性部の多数の皆様からの意見・要望をお聞きしたいと考えておりますので、是非、ご参加下さい。

【開催スケジュール】

地区	開催日時	開催場所
湯沢地区	8月26日(火)午後2時～	湯沢市 「湯沢グランドホテル」
横手地区	8月28日(木)午後2時～	横手市 「横手セントラルホテル」
大仙地区	9月 2日(火)午後2時～	大仙市 「大曲エンパイヤホテル」
鹿角地区	9月 4日(木)午後2時～	鹿角市 「鹿角パークホテル」
能代地区	9月 9日(火)午後2時～	能代市 「プラザ都」
秋田地区	9月11日(木)午後2時30分～	秋田市 「秋田キャッスルホテル」

【お問い合わせ先】 本会 商業振興課(☎018-863-8701)



■「創立50周年を祝う会」を開催 ～秋田県クボタ販売協同組合～

7月4日(金)、秋田キャッスルホテル(秋田市)において、秋田県クボタ販売協同組合(中安則光理事長)の「創立50周年を祝う会」が開催され、関係者等約40名が出席しました。

当組合は、農業機械販売店が共同組織による経営の合理化や安定化を図る目的で昭和40年11月に設立され、以後、共同購買事業のほか情報提供や研修等を実施し、組合員の販売力及び修理技術等の向上に努めています。

開会にあたり、中安理事長は、「当組合は秋田県農業の歴史とともに歩んで来た。組合員は二代目三代目となり、組合員



【祝賀会の様子(中央：中安理事長)】

間の結束はますます強くなっている。最近の農業情勢は、減反政策に加えTPP参加交渉など農業や農家にとって試練の時を迎えているが、この50周年を契機として結束力を高め、今後とも農家の頼れる相談役として、販売店ならではの特色ある営業やサービスを通じ、さらなる発展を目指していきたい。」と挨拶し、また、ご来賓として株式会社秋田クボタ代表取締役社長白石光弘氏(本会常任理事)や、本会高橋公悦参与から節目となる50周年を契機に更なる飛躍を期待する旨の祝辞が述べられるなど、盛大に記念の年を祝いました。

引き続き、株式会社商工組合中央金庫秋田支店の須田正紀次長の乾杯で宴に入り、終始和やかな雰囲気の中で懇談され、盛会のうちに終了しました。

■組合オリジナルアイスを発売！ ～協同組合横手卸センター～

協同組合横手卸センター(和泉健一理事長)では、昨年から「みちのく総合商社」プロジェクトを立ち上げ、(株)横手卸センターサービスを通じ組合員企業の開発商品及び地場産品の卸・小売販売や、組合ブランド商品の開発に取り組んでおり、このたび、オリジナル商品の第一弾として組合オリジナルアイス「氷蜜(ひみつ)」を発売しました。

「氷蜜」は、横手市増田産のそば粉とそばの実を使用しており、原料からパッケージデザインまで秋田県産にこだわった商品です。現在、組合事務局で販売しており、今後「さくらんぼ」や「すいか」、「りんご」など秋田県南地区の素材を使用したアイスクリームを開発しながら、順次販売場所を増やしていく予定です。

和泉理事長は、「団地内の結束を固め、横手に卸センターありと言われよう、今後も横手を全国に発信できるような商品開発と商社機能の強化に取り組んでいきたい。」と抱負を述べています。



【氷蜜(新そば味)：280円(税込)】

【お問い合わせ先】

協同組合横手卸センター・株式会社横手卸センターサービス
☎0182-32-8161

■「通町コンコン夏まつり2014」を開催！ ～秋田市通町商店街振興組合～

7月19日(土)、秋田市通町商店街振興組合(佐藤政則理事長)では、平成25年度補正「地域商店街活性化事業」を活用し、商店街を歩行者天国にしたイベント「通町コンコン夏まつり2014」を開催し街区を埋め尽くす大勢の人で賑わいました。

当イベントは、お客様に街や店舗の魅力を感じてもらうために、若手や女性会員の意見も取り入れながら「老若男女が集まる商店街」をコンセプトに実施しました。斬新なアイデアを盛り込んで、ホコテンでは車道を夏のビーチに見立て、バーベキューやスイカ割りをする一方で、キツネメークのコーナーは行列が出来る程の人気で、例年を大きく上回る7千人の来街客がありました。

自らキツネメークをした佐藤理事長は、「今回のイベントは、昔のように通町を人で埋め尽くしたいという思いから、ホコテンを実施し、屋台や休憩スペースも用意しました。また、商店街の皆さんが、お客様との出会いやふれあいができるよう、いろいろ工夫を凝らしました。お客様には是非、また通町に来てもらいたい。」と話されました。当日は、各コーナーの責任者として青井青年部長はじめ青年部員を配置し、賑やかさの中にも安心できるイベント風景が繰り広げられました。



【キツネメークのコーナー】



【佐藤理事長】

新理事長紹介

役員改選により、下記の方が新しく理事長に選出されましたので、ご紹介いたします。

能代合板天井板協同組合(能代市)

理事長 深井 範保さん

組合員名：丸石銘木有限会社

役職：代表取締役

改選日：平成26年5月31日

一会員組合の皆様へ

本コーナーでは、平成26年4月1日以降の理事長交代について紹介させていただきます。

新しい理事長が選出された場合は、本会企画広報課までお知らせください(☎018-863-8701)。

支援団体活動レポート

本会が支援する各団体で平成26年度の通常総会が開催され、それぞれ平成25年度の事業報告及び収支決算が承認されたほか、平成26年度事業計画、収支予算等すべての議案が満場一致で原案どおり可決決定されました。また、役員改選や研修会等も併せて行われましたので、ご紹介します。

交流サロンを開催 ～あきたレディース中央会～

6月26日(木)、ホテルメトロポリタン秋田(秋田市)において、あきたレディース中央会(藤原恵美子会長)の平成26年度通常総会が開催され、会員等15名が出席しました。

総会に引き続き開催された交流サロンでは、会員である株式会社加藤保険サービス(秋田県保険代理業協同組合)の加藤美津子社長から、「プラスになる変化を生み出すために」というテーマで講話が行われ、実体験を例に「前向きの思考から得られるプラスの効果」について説明が行われたほか、相続税の課税対象が拡大されたことに伴う資産管理や運用について説明が行われ、「相続と生前贈与による税額の違い」や「生命保険等を活用した節税対策」が紹介されました。

あきたレディース中央会では、会員が幅広く異業種の交流や連携を深め、新たなビジネスチャンスの拡大や企業の経営力向上を図るための研修会や情報提供等を実施することとしており、今年度は、秋田県中小企業団体中央会が主催する事業等へ積極的に参加するほか、研修会・懇談会等の開催を予定しています。



【通常総会の様子】

- 【会員募集中】** 会員資格 ①団体会員：中央会に所属する会員組合の女性部等
②個人会員：中央会に所属する組合役員並びに組合員企業の女性経営者等本会の趣旨に賛同する方

※詳細につきましては本会商業振興課までお問い合わせください(☎018-863-8701)

第1回研修会を開催 ～秋田県外国人技能実習生受入組合連絡協議会～

6月27日(金)、イヤタカ(秋田市)において秋田県外国人技能実習生受入組合連絡協議会の平成26年度通常総会が開催され、会員等25名が出席しました。任期満了に伴う役員改選では、佐賀善美氏(コーディネーター秋田協同組合理事長)が会長に再選されました。

総会に引き続き開催された研修会では、今後の外国人技能実習生の受け入れに関する情報収集を行うため、フィリピン・ベトナムの送り出し機関から各国の特徴や送り出し機関の実績等について、また、秋田労働局職業安定部職業対策課からは、外国人の雇用の現状及び適正な雇用管理について情報提供をいただきました。

秋田県外国人技能実習生受入組合連絡協議会では、外国人技能実習生受入事業の円滑な実施に寄与するため、受入に関する研修会を開催し会員の資質向上と会員相互の親睦を図るほか、外国人技能実習生の日本語能力やコミュニケーション力を高めるための事業を実施することとしており、今年度は、「日本語スピーチ&日本の歌コンテスト」の開催を予定しています。



【通常総会の様子】

青年部研究会事業成果報告会を開催 ～秋田県中小企業青年中央会～

7月17日(木)、ホテルメトロポリタン秋田(秋田市)において、秋田県中小企業青年中央会の平成26年度通常総会を開催し、会員等40名が出席しました。任期満了に伴う役員改選では、佐藤潤氏(湯沢市柳町商店街協同組合青年部)が新たに会長に選出されました。

引き続き、平成25年度青年部研究会事業(本会支援事業)を活用して課題解決に取り組んだ4組合青年部による事業の成果報告が行われ、発表者からは、「交渉スキルを学んだことから、値引きに頼らない良い交渉をす

るため、自社の長所やアピールポイントを伸ばしていきたい。」「視察先での取り組みを参考に、当商店街における駐車場のあり方を検討し、利便性や安全・安心が図られた来街しやすい商店街づくりを進めたい。」等、実施内容や感想等が述べられました。

秋田県中小企業青年中央会では、今年度は、青年部研究会事業を積極的に活用し組合員企業の活性化を図るほか、会員間取引や会員相互のコミュニケーションの促進を図るための研修会やスポーツ交流等の実施を予定しています。



【通常総会の様子】

【会員募集中】 会員資格 ①団体会員：組合青年部(名称の如何に関わらず、若手組合員及び組合員の後継者等で構成されている組織)

②個人会員：若手組合員及び組合員の後継者

※詳細につきましては本会商業振興課までお問い合わせください(☎018-863-8701)

新役員を決定 ～秋田県中小企業組合士会～

7月18日(金)、第一会館本館(秋田市)において、秋田県中小企業組合士会(堀川深雪会長)の平成26年度通常総会を開催し、会員等38名が出席しました。任期満了に伴う役員改選では、堀川深雪氏(秋田卸センター協同組合次長)が会長に再選されました。また、総会に先立ち、中小企業組合士認定証書の伝達式が行われ、猪股万里子氏(秋田電気工事協同組合)と深沢さやか氏(秋田県中小企業団体中央会)の2名に対し、秋田県中小企業団体中央会加藤事務局長から認定証書が手渡されました。



【通常総会の様子】

秋田県中小企業組合士会では、中小企業組合士制度の普及と会員の資質向上を図るため、研修会事業や情報提供事業等を実施することとしており、昨年度、全会員を対象にアンケート調査を実施した際、他団体等との交流を希望する意見があったことから、今年度開催する研修会等では、秋田県中小企業団体事務局協議会にも参加を呼びかけ、情報交換や交流を図る予定です。

【会員募集中】 会員資格：中小企業組合士に認定登録された者、または中小企業組合検定試験の全科目に合格し、将来中小企業組合士の認定登録をうけようとする者

※詳細につきましては本会企画広報課までお問い合わせください(☎018-863-8701)

事務局交流親睦事業を開催 ～秋田県中小企業団体事務局協議会～

7月11日(金)、ボウルジャンボ秋田(秋田市)において、秋田県中小企業団体事務局協議会(佐藤弘幸会長)主催の事務局交流親睦事業(ボウリング大会)が開催されました。

本事業は、事務局協議会会員相互の親睦を図るとともに、加入促進を目的に関係団体にも参加を呼びかけ、組合事務局等から33名が参加し、11チームに分かれて白熱したゲームを繰り広げました。

大会終了後に会場を移して行われた交流懇親会では成績発表が行われ、個人では山谷伸朗氏(能代山本生コンクリート協同組合事務局長)が2ゲーム合計349で優勝し、団体では山谷伸朗氏、泉屋直子氏(秋田管工事業協同組合職員)、島山頼仁氏(秋田県中小企業団体中央会)の混合チームが優勝したほか、特別賞も多数授与されるなど、参加者がお互いの健闘を讃え合い、親睦を深めました。



【優勝チーム】

【会員募集中】

会員資格：中央会に所属する会員組合事務局役職員

※詳細につきましては本会商業振興課までお問い合わせください

(☎018-863-8701)

新設組合紹介

アジア・アパレル協同組合



岩井川理事長

【組合の紹介・PR】 秋田県内の縫製業は、海外からの低価格商品の増加や単価の引き下げ、多品種小ロット生産・短納期、さらには人材確保が難しいなど経営上の課題が多く、依然として厳しい状況が続いています。

そこで、アジア全域からの技能実習生の受入を視野に入れながら、組合員が製造する婦人服等の共同受注や組合員が取り扱う資材の共同購買、経営及び技術の改善向上と情報収集及び研修会等の事業の実施を通じ、経営課題の解決と組合員の経済的地位の向上を図ることを目的に、能代市、山本郡三種町及び藤里町において縫製業を行っている4社で当組合を設立しました。

【理事長から一言】

少人数の組合ですが、地方の製造業が抱える諸問題について四つの頭で考え、一步ずつ前進していくつもりです。

各社の特性を最大限発揮し、アジアの国との技術・人事交流を展開しながら、組合事業を拡大し、県内縫製業界の振興・発展に寄与していきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

- 所在地 能代市二ツ井町切石字山根 58 番地 1
- 代表理事 岩井川 功
- 出資金 400, 000 円
- 組合員数 4 名
- 主な事業 共同受注、共同購買、教育情報
- 成立年月日 平成 26 年 7 月 16 日



組合ティールーム

秋田県石油商業協同組合

理事長 西村 紀一郎 さん

○業界の現状について

当組合は、県内の石油販売業者が「共存共栄」を目的として昭和28年に設立され、今年1月に創立60周年を迎えました。

石油販売業を取り巻く情勢は年々厳しさを増しており、消費税増税と地球温暖化対策税のダブル増税に加え、県外資本大手企業の販売による市況の悪化など、組合員事業所数はピーク時には441カ所だったものが、現在では265カ所(ピーク時の60%)まで減少し、組合財政も厳しい状況となっています。

そのため組合としては、安定した市場価格の形成や組合員の安定経営基盤の確立を図るべく、補助金の有効活用や共同購買事業の利用促進、各種情報の提供と共有に努めるとともに、国や県の機関、県内自治体等官公需の共同受注に積極的に取り組み、受注者と発注者の双方のメリットを確保しながら、事業を拡大しております。

○理事長としての抱負

業界の使命は、石油製品の安定供給というライフラインの一翼を担うことですが、そのためには、まず市場価格を安定させ、採算のとれる業界にしていくことが一番重要です。

組合員間の結束をより強固にし、組合活動を通じ地域と共生する魅力ある業界を目指して頑張りたいと考えています。

○座右の銘について(普段心がけていること)

「人のそばに、夢のそばに」です。この言葉は、多彩な事業活動を通してお客様や社員をはじめ全ての人の夢を形にするお手伝いをしていきたいという企業姿勢を簡潔に集約したメッセージで、日々大切にしていることです。

○趣味について

ゴルフと音楽鑑賞です。日頃の運動不足解消のため、楽しいゴルフを目指して日々努力しています。また、時間を見つけて音楽会やコンサートに足を運び、音楽を楽しんでいます。



「経営者保証に関するガイドライン」の活用に係る参考事例集のご案内(金融庁)

金融庁では、「経営者保証に関するガイドライン」を融資慣行として浸透・定着させるため、ガイドラインの活用に関して金融機関等より広く実践されることが望ましい取組を事例集としてとりまとめましたので、企業においても、新たな事業展開や早期の事業再生等の参考にしてください。

- 「経営者保証に関するガイドライン」の活用に係る参考事例集
<http://www.fsa.go.jp/news/25/ginkou/20140604-2/02.pdf>

中小企業支援施策を容易に検索できるシステムを運用開始します(中小企業庁)

中小企業庁は、国・都道府県・市区町村の中小企業・小規模事業者向け施策を、目的や分野、必要金額等に応じて検索したり、容易に比較や一覧できるシステム「施策マップ」を、中小企業庁のポータルサイト「ミラサポ」上に構築しました。是非、ご活用ください。

- 「ミラサポ」<https://www.mirasapo.jp>
- 「施策マップ」https://www.mirasapo.jp/subsidy/subsidy_list.html

全国の経営相談拠点(よろず支援拠点)をご活用ください(中小企業庁)

中小企業庁では、全国の47都道府県の産業支援機関や商工会議所内にそれぞれ1カ所ずつ「よろず支援拠点」を設置し、中小企業の売上拡大や新分野進出等の経営課題のほか、起業・創業にまつわる相談に総合的に対応します。

- よろず支援拠点(秋田県)：あきた企業活性化センター内(☎018-860-5605)

「募金百貨店プロジェクト」の協賛企業を募集します(社会福祉法人秋田県共同募金会)

社会福祉法人秋田県共同募金会では、赤い羽根共同募金「募金百貨店プロジェクト」を実施しており、現在、協力企業等を募集しています。

本プロジェクトは、企業等との連携協力により寄付つき商品やサービスを企画し、多様な形での募金活動を展開するもので、集まった寄付金から県内の社会福祉施設や社会福祉・ボランティア団体等に助成します。

※法人が共同募金会へ寄付をした場合、全額損金算入が認められます(法人税法第37条)

- 実施期間：平成26年7月1日(火)～平成27年3月31日(火)

【お申し込み・お問い合わせ先】 社会福祉法人秋田県共同募金会(☎018-864-2821)

平成26年度中小企業組合検定試験の実施について

本会では、平成26年度中小企業組合検定試験の受験者を募集しております。

本試験に合格し、組合等で3年以上の実務経験を有する方については、全国中小企業団体中央会から組合運営のエキスパートである「中小企業組合士」として認定されます。

現在、本県では72名、全国で約3,250名の方が中小企業組合士として事業協同組合、商工組合等の中小企業組合や商工組合中央金庫、中小企業団体中央会等で活躍しています。

なお、本会では11月に受験対策講座を開催する予定ですので、是非、本講座を活用して、中小企業組合士を目指してみませんか。

- 試験日：平成26年12月7日(日)※試験会場は秋田市です。
- 試験科目：組合会計、組合制度、組合運営(3科目)
- 受験料：5,000円(一部科目免除者は3,000円)
- 申込締切：平成26年10月15日(水)

【お問い合わせ先】 本会企画広報課(☎018-863-8701)